いつもありがとうございます。

W40 青果発注書をお送り致しました。

御注文のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

・そろそろ冬至用南瓜の予約受付の時期になってきました。

<mark>北海道産 栗南瓜【ほろほろ】</mark>(有安海)





毎年恒例となった冬至用の南瓜の受付を開始する時期になります。 例年通りの御予約発注いただくタイミングによって、 冬至週のお届け価格に変化がございますので、 可能な限り、お早めに御予約発注してもらうことをお勧めしております。

しかし、冬至自体はまだまだ 2 カ月も先の話になりますので、 この予約自体はあくまでも予約とさせていただいており、 その時期に実際の御発注と差が生じても問題ございません。

例えば、前年の弊社への御発注が50ケースという実績から、 今年の予約数として仮に100ケースを御予約いただいたとします。 それまでの間で南瓜の人気度が高まって、もっと売れると判断され、 実際の発注のタイミングで120ケースに修正していただくことも可能です。 逆もまた然りで、100ケースの御予約に対し、 売れ行きが芳しくないので70ケースに減らすことも承っておりますので、 ある程度計画はしていただく必要はございますが、 固くなりすぎずに考えてもらえると助かります。

これは弊社で南瓜の数量確保をするうえで、 各企業さまの数量イメージを捉えさせて頂くことを目的としておりますので、 予約数 = 発注数ということではございません。 しかし、100 ケースの御予約に対し、 0 ケースというような修正だけは御勘弁願いたいと思っております。

今年の冬至用に御用意している南瓜自体は、 例年通りの北海道和田農園さんの栗南瓜【ほろほろ】を予定しております。 状況によっては、

無限樹さんの栗南瓜【ほろほろ】もご案内する可能性もございますので、 柔軟にご対応できる準備をして頂けると幸甚でございます。

毎年好評をいただいております、恋するマロンはやはり今年も人気が高く、 特に静岡の企業さまでは、

なんと 5 トンコンテナ (480 ケース) を隔週で直送させて頂いており、 それをなんと 28 店舗で割り振りをしていますので、

17 ケースを 14 日で販売していく計算になるので、 1 日 1.2 ケース販売している計算になります。

単純計算で1店舗当たり約17ケースになります。

仮に 1 ケースから 4 分 1 カット 24P 取れるとすると、
1.2 箱×24p=29P を販売する事になり、
2,000 人来店される店舗であれば、
29/2000≒1.44%となります。

つまり、南瓜の PI 値を 14.4 にすれば良いという事になります。

特別だと思うのか、自分のお店でも可能性を信じ、 同レベルでの取り扱いを目指すのかは私には決められませんが、 この恋するマロンをこれだけ販売することが出来れば、 粗利額をなかなかに上げられていることはわかってもらえるかと思います。 個人的にはここは目指すべき数量で、 目指して力を入れることが出来れば、到達できるようには思えます。 冬至で販売する栗南瓜はこの恋するマロンではなく、 晩生に当たる『ほろほろ』という品種になるのですが、 早生品種になる恋するマロンはこの時期には腐敗率も高くなり、 味そのものも現在のそれと比べると、残念ながら劣ることになります。

しかし、恋するマロンを冬至にも販売したい! という声を毎年お聞きします。 先に書いた事実があれば、

恋するマロンというネーミングや商品性を変に固執するのではなく、 その時に何が美味しいのかを見極め取り扱うことを優先することの方が重要で、 その先にお客さまの信頼が待っていると考えると、おのずと答えは決まると思います。

・北海道産 特別栽培 渡邊さんのミニトマトシリーズ、 コト POP ができました (販促部:吉田紗知子)



北海道産 特別栽培 渡邊さんのミニトマト(全体)の、 コト POP が追加されました。(**Dropbox にてダウンロード可能**です。)

今年に新登場してから数か月。

スタンダードな丸くて赤いミニトマトの詰め合わせ 「**渡邊さんのミニトマト**」 アイコのみ商品 「**渡邊さんのミニトマト・アイコ** |

現在は終了していますが、 イエローミニトマトや赤・黄混合の「mix」等と 多様な商品種類で登場してきました。

毎度の測定数値・糖度の高さや、 鮮やかな色合いで注目点が高いミニトマト。

上記に気付かれたお客様方に、繰り返し注文を頂く機会も増えています。

今年は、気温や気候で、

収穫時・出荷納品時 にトラブルが起きやすくなっています。

アルファー人気商品である、

「北海道産・無限樹のミニとまと キャロル 10」も含め、

今年、ミニトマトは

繊細な対応が必要な商品 となっていますが、

是非、ご了承の上、ご検討いただければと思います。

以下はエンドユーザーさんから頂いたメールです。



岡山県のプラッツ泉田店(?)で 購入しました*

物凄く甘く美味しくて 料理するのが勿体無いくらいでしたので、 オヤツとしてぽりぽり食べ、 東京の親友に

サイトと同時にこちらの写真を送りました。

野菜嫌いな子供でも食べれると思いました! いろんな店舗に出してください*****

(導入時に試食しましたが、確かに美味しいミニトマトでした) (まさしく、ミニトマトはデザートとして弁当に入れられます)

<mark>・鹿児島県種子島産 夢百姓 糖蜜あんのう芋</mark> (販促部:生島 麻亜子)



さつまいもが続々と新登場しています! 今週新登場したのは、『糖蜜あんのう芋』です。

安納芋は、丸い見た目が可愛く、黄金色の中身が映えるさつまいもで、 食感の滑らかさが大きな特徴です。

クリームペースト状にするお菓子では、とても強いさつまいもだと言えます。

元々は種子島でしか栽培が許されていなかった品種ですが、 今は県外でも栽培することが可能になり、様々な派生品種が開発されています。 そんな中でも、

夢百笑さんは特に味が優れているとされる原種を栽培し続けています。

また、原種から特に糖度の高い芋を種苗とし、 種子島で長い年月をかけ、栽培されてきた逸品です。

そのまま加熱するだけでも美味しいのですが、弊社では特に売れているアイテムがあります。



こちらの小箱での販売が毎年ご好評を頂いております。

発注書にも記載のある通り、産地直送で、

S-2S 約 750g(小箱入り) の商品となっております。

このアイテムだけに限りませんが、お祭りのような売場を作ると、 お客様が雰囲気を楽しんでくださり、普段より多くの商品を購入して頂けます。

こちらのアイテムは小さいサイズで購入しやすくしており、 また、お祭りのような売場作りのため 大量に仕入れて頂けるよう直送のみでお安くしています。

同じ夢百姓さんで、種子島産の安納芋を使用した焼き芋から作った 『**干し蜜芋**』も販売しておりますので、

是非ご一緒にお取り扱い頂ければと思います。

<mark>・香川県産宮下さんのさつまいもについて。</mark> (吉田麻衣)

宮下さんへ訪問してきました。

宮下さんは農家兼育苗家でもあります。

そんな宮下さんはタキイ種苗さんとの付き合いもありますが、

タキイ種苗さんから仕入れるというわけではなく、

宮下さんが育てたサツマイモの苗をタキイ種苗さんが仕入れるという、

普通とは逆のパターン。

なぜそうなるのかというと、

実はサツマイモは芋を育てるよりも苗を育てる方が難しいらしく、

種苗会社でも上手に生育できないのだとか。

理由に挙げられるのが時期になります。

暖かい今の時期であれば、放っておいても芽が出てきます。

育苗を開始するのは寒い1月頃からになります。

その頃だと放っておいても寒さで芽は出ないですし、サツマイモ本体が傷んでしまいます。 なので、芽を出すための温度管理に、実に神経を使います。

芽が出た後も大変で、芽が育って蔓が延びてくるのが3月頃。

この時期だと暖かくなったり寒くなったりで、温度管理が非常に難しいそうです。

寒すぎると成長しないですし、暑すぎるとやけてしまうそうです。

この温度管理があまりにも難しいということなので、

タキイ種苗さんも宮下さんに栽培を依頼し、

それを仕入れて販売するという手段をとるっていうことになったみたいです。

そのいい苗は、自社で栽培したサツマイモの中からいいサツマイモを選別して、そこから苗を育てるそうです。

以前に福井県の吉村さんから、

さつまいもは育てた畑の性質を記憶するとの話をしてもらいました。

今回宮下さんも同じようなことを教えてくださいました。

ひと口にさつまいもといっても、ネットリ系とかホクホク系とかあるわけで、

その性質によって育てるべき畑が変わってくるそうです。

金時のようにホクホク系のさつまいもは、砂地の方が育ちがよく、 紅はるかのようなネットリ系のさつまいもは、黒ボクの方が育ちがいいです。 安納芋はそのどれでもなく、赤土の方が美味しく育つそうです。

宮下さんの畑は砂地であり、金時系のさつまいもが一番適しています。 栽培されているのは 4 品種で、 坂出金時、ハロウィンスイート、紅はるか、すずほっくりです。

畑があるのも坂出市なので、それも納得は納得です。

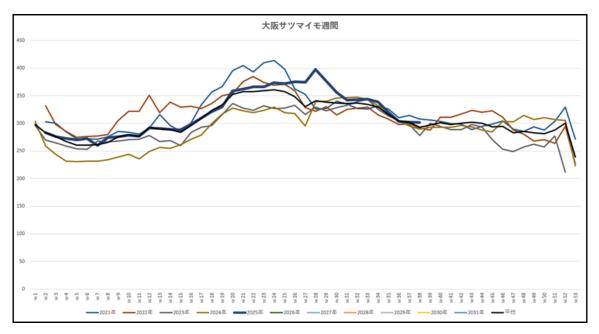
そのうち、坂出金時が一番面積が広く、多く栽培しています。

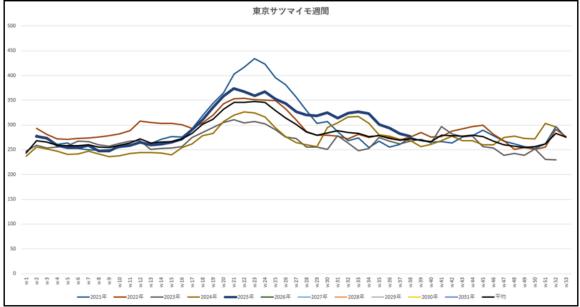
肥料はベースの肥料を基に、他の物を品目ごとにではなく、 品種ごとに全て配合の量を変えているそうです。 更に定期的に海から砂を持ってきて客土にします。 こうすることによって通常の肥料にミネラルも加えて畑を育てます。





いい苗といい畑、それが宮下さんのさつまいもって感じでした。





ただ今の相場はこんな感じです。

大阪、東京共に平年並みといえば平年並み。

ただし、全国的に水が欲しいときに全然雨が降らず、

必要以上に高温であったため生育が悪かったという話を聞いています。



こちら現状取り扱っている、さつまいもーズの2L軍団です。

全ての品種で顔が違うのがよくわかります。

『すずほっくり』が一番シュッとしている感じです。

焼き芋にして食べたことないですが、形状は理想的なまでに整っている感じです。

·松茸情報 9月18日現在

● 中国産 産地状況

産地の数が、急激に減りだしました。

今年の中国は、急激に出て急に無くなるという傾向が各産地で起きており、 その為、ここまで予想がしにくい状況が続きました。

例年、9月初めに終わる四川がここまでありましたが、完全に終わりました。

雲南省もメイン産地のシャングリラがついに終了、

そこに本来10月に出てくる産地が、

中旬から出てきましたが、ここもピークは過ぎたとのこと、

雲南全体で、生鮮向けの数量が今まで10トン以上あったのが7トン以下になり、 ここから更に減りそうです。 遅れていた、産地の切り替わりが、この時期に来たみたいです。

それに加えて需要の方が、今まで中国が静かであったことが幸いしていましたが、

国慶節とシュウセキに向けて需要も活発になってきました。

韓国も同じくシュウセキに向けてつぼみ中心に買いに入りだしました。

本来ならこの時期には、吉林省が出てくるのですが、不作なのか出ません。

北朝鮮も密輸になる為ほぼ入りません。

日本も気温が下がり業務中心の買いが増えてきて、

少ないですが、唯一、茶色の松茸がある雲南省に、

中国、韓国、日本が競って買いに入りだしました。

今まで産地価格も安かったので、その反動ですでに産地は、上がっています。

現状、代替え産地が見当たらないので、

10月の連休までは、価格の上げについていくことになりそうです。

● 北米産 産地状況

中国産が安かったことで、日本からのオーダーが少なく、産地状況が見にくかったのですが、 ここにきて、各商社が、北米にシフトしていくと、産地は、多くないことがわかりました。

カナダは、今の産地が、ピークを越えて1等が不足して、

1等中心に価格が上がってきました。

アメリカも静かで、今まで、価格も合わないので、

産地に取りに行く人も少なかったのですが、

産地に入りだすと一番目の産地は、ピークが過ぎて1等が少なく、

1等中心に価格が、上がりだしました。

その次の産地は、雨が降ったので出てくるとは言っていますが、まだわかりません。

北米は、次の産地が出てこないと、しばらくは、1等中心に上がります。 次の産地待ちの状態です。

● 日本市場

長い間、静かな状態が続いていましたが、さすがに今度は、中国も減っているみたいです。 全国的に需要も増えてきており、お彼岸を境に高騰しそうです。

中国も北米もこれからしばらくは、混乱が続きます。

日々、状況お知らせしますのでご注意ください。

● 今後の動き

お彼岸から業務関係が、活発になりそうです。

中国は、業務関係、北米が量販店向けと、例年ならなるのですが、

北米の数量が増えません。

北米の状況次第で価格もさらに上がります。

日々確認していきます。

引き続きご報告致します。よろしくお願いします。

(㈱パシフィックコーポレーション 社長:彦坂嘉男)

<mark>· 今週の成分測定レポート</mark> (吉田紗知子)

【さつまいも・糖度数値について注意】

さつまいもは「**加熱して甘さを引き出し、ホクホク感を味わう**」野菜である為、

6/17 吉村さんのほっこり金時 の測定から、加熱後の糖度測定を開始しました。

焼き芋のように低温でじっくりと熱を通すと、糖化が起こりやすくなることから

結果として糖度も上がりやすいため、

よくweb 上などで紹介されている焼き芋の糖度とは、

比較条件が異なることはご留意ください。

■香川県産 有機栽培 宮下さんのさつまいも・すずほっくり

測定日	産地	生産者・品名	品種	1 本の 重量	硝酸態窒素 濃度平均	糖度	
					(ppm)	加熱前	加熱後
2025/09/19	香川県	宮下さん さつまいも	すずほっくり	232.5g	検出せず	14.4	40.5



香川県・宮下さんの、

すずほつくり を測定しました。

前回は、

今年の 2025/3/7 に測定を行っています。

ですので、前回は昨年期の熟成された個体、

今回は収穫時期すぐの若い個体という 比較でもあります。

糖度は、

【加熱前】20.1 度→**14.4** 度 【加熱後】45.8 度→**40.5** 度 と検出されました。

ほっこり金時等よりも高く、同産地の坂出金時と近い数値となっています。

又、冒頭で記載した通り、

これから熟成されていく という若い数値である印象を受けます。

試食してみると、ホクホク系で甘みもしっかりとした、さつまいもでした。

<mark>・今週の栽培台帳調査レポート</mark> (中澤佐江子・中澤和大)

■山口県産 特別栽培 岩国れんこん

品目 レンコン

品種 シロバナ種

特別栽培農産物

栽培責任者 岩国れんこん生産者の会 鈴木 政次

住 所 山口県岩国市門前町 5-9-13

連絡先 0827-32-1151

確認責任者 (有)広中食品 広中 千佳

住 所 山口県岩国市門前町 5-9-13

連絡先 0827-32-1151

節減対象農薬 栽培期間中 不使用

化学肥料(窒素成分) 栽培期間中 不使用

■台帳 No.3429

生産者 全5名

栽培面積 153a

予想反収 1,300kg/10a

収穫期間 2025/10/20 ~ 2026/3/31

ネオニコチノイド農薬使用無し

■今作の作柄について

空梅雨、猛暑と大変な生育期をたどっておりますが、 台風被害が無い分大きな期待をもってスタートしています。 とのことです。

■昨年との比較

毎年ほとんど同じとなります。

■山口県産 岩国れんこん(栽培概要)

品目 レンコン

品種 シロバナ種

栽培概要

栽培責任者 岩国れんこん生産者の会 鈴木 政次

住 所 山口県岩国市門前町 5-9-13

連絡先 0827-32-1151

確認責任者 (有)広中食品 広中 千佳

住 所 山口県岩国市門前町 5-9-13

連絡先 0827-32-1151

節減対象農薬 4回 当地比2割減

化学肥料(窒素成分) 18.8kg 当地比3割減

■台帳 No.3430

生産者 全33名

栽培面積 4500a

予想反収 1,700kg/10a

収穫期間 2025/9/6 ~ 2026/3/31

ネオニコチノイド農薬使用有り

■今作の作柄について

空梅雨、猛暑と大変な生育期をたどっておりますが、

台風被害が無い分大きな期待をもってスタートしています。

とのことです。(特裁と同じ)

■昨年との比較

栽培内容は同じで、 その他も ほとんど同じとなります。

■スタートの頃の 2012 年と比較すると・・・

特別栽培は 面積 253a 生産者 12名 → 今年は 153a 5名 慣行品は 面積 4500a、生産者 43名 → 今年は 4500a 33名 生産者が減少しています。

日本中、同様の傾向です。

■石川県産 特別栽培 加賀美人れんこん

品目 レンコン

品種 志那白花

特別栽培農産物

栽培責任者 株式会社 One 染谷 洋介

住 所 石川県金沢市才田町は68番地

連絡先 076-255-1581

確認責任者 株式会社 One 宮野 義隆

住 所 石川県金沢市才田町は68番地

連絡先 076-255-1581

節減対象農薬 3回 当地比6割減

化学肥料(窒素成分) 0.0kg 栽培期間中不使用

■台帳 NO.3431

栽培面積 532a

予想反収 1.5t/10a

収穫期間 2025/8/29 ~ 2026/4/上

ネオニコチノイド農薬使用有り

■昨年との比較

農薬が6回でしたが3回になりました。削減率は6割減で同じです。

面積が 70,000a でしたが、 今年は 532a。

全面積を尋ねてみましたら、

昨年が間違いで、700aが正しくて、

種芋用のれんこん栽培をする圃場と足すと 700a になるそうです。 昨年と同じとなります。

■今作の作柄について

天候の影響や、作物の病気等: 5段階の良いの5です。

果実の大きさ : 3段階で 例年並みの 2 です

コメント:

酷暑・豪雨災害を受けましたが作型は平年並みか、それ以上です。 圃場での土づくりの賜物と思っております。

■熊本県産 特別栽培 吉田さんのみかん(肥のあけぼの、田口早生、南柑)

品目 温州ミカン

品種 肥のあけぼの、田口早生、南柑 20号

特別栽培農産物

栽培責任者 吉田 令子

住 所 熊本県宇城市三角町手場 1871

連絡先 0964-34-2002

確認責任者 吉田 昌功

住 所 熊本県宇城市三角町手場 1871

連絡先 0964-34-2002

節減対象農薬 5回 当地比7割減

化学肥料(窒素成分) 栽培期間中不使用

■台帳 No.3432

栽培面積 肥のあけぼの: 30a 田口早生: 40a 南柑 20号: 30a

栽培本数 各 20 本/10a

予想反収 各 100kg/10a

収穫期間 肥のあけぼの:2025/9/下 ~ 11月

田口早生 : 2025/10 ~ 11月

南柑 20 号 : 2025/12 ~ 26/1

ネオニコチノイド農薬使用有り

■昨年との比較

田口早生が 10a 増加、 南柑が 20a 減少 本数が全品種 50 本から 20 本へ減少 予想反収が 2 t から 100kg へ減少

■今季の作柄

天候の影響や作物の病気等: 5段階で

肥のあけぼの 田口早生 南柑 20号 すべて2 (やや悪い)

果実の大きさ 3段階

肥のあけぼの 田口早生 南柑 20号

すべて 2、3(2が例年並みで○、3が大玉傾向で△)

■香川県産 有機栽培 宮下さんのさつまいも・すずほっくり

品目 サツマイモ

品種 すずほっくり

有機農産物

生産工程管理者 株式会社さぬき有機

住 所 香川県坂出市高屋町 962-2

連絡先 0877-47-2906

認証機関 一般社 団法人オーガニック認証センター(OCC)

■台帳 NO.3426

栽培面積 3.5ha

栽培本数 3,000 本/10 a

予想反収 2500kg/10a

収穫期間 2025/8/20 ~2025/9 /1

ネオニコチノイド農薬使用無し

それでは、今週も御発注のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

有限会社アルファー

吉田清一郎